

○事業所名	このこのリーフ千葉ニュータウン		
○保護者評価実施期間	2025年3月17日		2025年3月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年3月17日		2025年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【スタッフの温かさと信頼関係】 保護者から「スタッフのみなさんが温かい」「我が家になくてはならない存在」など、スタッフへの信頼を寄せる声を多数いただいています。子どもへの肯定的な関わりと、保護者にも気軽に相談できる雰囲気づくりが定着しています。	【職員間のチームワークと相互フォロー】 相談・フォローのしやすい職場環境を職員自身が高く評価しており、チームワークの良さが子どもへの安心感として伝わっています。専門職としての評価表を個別に作成し、面談で活用しています。	【支援終了後の振り返り共有の定例化】 その日のうちの振り返りは業務上難しい面があるため、別の日や個人間での共有方法を継続しつつ、より体系的な共有の仕組みを整えていきます。
2	【楽しみながら成長を促す療育プログラム】 工作・キッチン・外出活動・カレンダー作成など、目的と安全性を考慮した体験型の療育プログラムが、子どもたちのコミュニケーション能力や創作意欲の伸びにつながっています。保護者から「楽しんで通っている」「成長を実感する」との声が聞かれます。	【季節イベントと外部講師招聘】 毎年、地域の方とのイベントを企画。長期休みには保護者様や外部の方に講師を依頼するなど、児童たちの刺激になる活動を取り入れています。	【地域連携機会のさらなる拡充】 地域の方々を招いたイベントの定着に加え、放課後児童クラブ・児童館との交流機会を年度計画に組み込み、地域に開かれた事業運営を進めていきます。
3	【保護者との日常的な情報共有】 連絡帳・送迎時の対話・面談を通じて、子どもの細かな所作の変化や成長の様子まで保護者と共有。日常コミュニケーションの中で、家庭での関わり方への助言にもなっています。	【保護者の気持ちにも寄り添う対応】 通っている本人だけでなく、きょうだいや保護者自身の気持ちまでも考慮した対応を心がけ、肯定的な見方を保護者にも伝えることで、安心して相談できる関係を築いています。	【家族支援プログラム及び保護者会の整備】 ペアレント・トレーニング等の体系的家族支援プログラムや、保護者会・きょうだい交流の機会を計画的に整備していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【放課後児童クラブ・他事業所との交流の不足】 放課後児童クラブや児童館との交流、自立支援協議会等への参加が十分に行えていません(自己評価Q32は0%、Q33は20%)。地域柄、子どもが家庭近隣で遊べる相手が少ないとの保護者声もあります。	【地域ネットワークの構築途上】 地域住民を招いたイベントは実施できているものの、放課後児童クラブや他事業所、自立支援協議会等との交流はこれからの段階にあります。	【他事業所・関係機関との交流機会の創出】 放課後児童クラブ・児童館との合同活動や、自立支援協議会への積極的参加を年度計画に組み込んでいきます。
2	【家族支援プログラム・保護者会の機会不足】 ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、父母の会・保護者会等の保護者同士の交流機会が十分に提供できていません(自己評価Q35は43%、Q40は14%、保護者アンケートQ14・Q18でも課題)。	【駐車場制約と運営体制の未整備】 駐車場が少ないという物理的制約に加え、集団としての家族支援プログラムや保護者交流の運営体制が整っていません。また、放デイ利用を周囲に知られたくないという保護者の意向にも配慮が必要です。	【家族支援プログラムの試行的導入】 日常のコミュニケーションで実質的に行っている子育て情報提供を体系化し、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムやオンライン参加可能な保護者会等を企画していきます。
3	【関係機関連携と就学前事業所との情報共有】 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画機会の安定化、就学前事業所との情報共有(Q29は57%)、児童センター連携、移行支援の体系化(Q30は25%、現状該当者少)に改善余地があります。	【担当者の役割分担と連携窓口の未明確化】 関係機関連携については個別に必要に応じて行っているものの、窓口担当者の役割分担や定例的な連携体制が確立途上にあります。	【関係機関連携窓口の明確化】 児童発達支援センターからのスーパーバイズ受講機会の確保、就学前・移行先事業所との情報共有の定型化、関係機関連携の担当者・窓口の明確化を進めていきます。

事業所名	このこのリーフ千葉ニュータウン
------	-----------------

公表日 2026年5月28日

利用児童数 33名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	<p>【保護者ご意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下の子や他のお子さんに対して、一瞬考えてから対応できるようになった！！ ・このこのリーフのスタッフの皆様は頼れる先生でありお兄ちゃんお姉ちゃんであり親戚のおじちゃんおばちゃんであり…そのくらい信頼関係が築けていて、些細なことでも相談したくなります。 ・通っている本人だけではなく兄妹や私自身の気持ちや考えまでも考慮して下さい、もう我が家になくはない存在となっております！ ・息子の創作物のレベルアップや受け答えの進歩、お弁当の食べ方等、細かい所作についても共有していただき、とても感謝しております。 ・とにかくスタッフのみなさんが温かいです。その子の持ち味を肯定してくれて、気長に向き合っていて、それだけで嬉しいですし、親の私もみなさんに何でも相談できて、お話しするのが楽しいです。子どもは色々な事を体験させてもらい、この1年ですごくコミュニケーションが上手になりました。 ・このこのさんに通うようになり、工作にとっても集中して取り組むようになりました。通いはじめて1年ですが、安全地帯が増え、本人の楽しみもあり、親子で助かっています。 ・いつもお世話になっております。カレンダー作成や工作など、いつも素敵な作品を持ち帰ってくるので楽しみです。作品は家に飾ったりして楽しんでいます。 ・いつもありがとうございます。毎日行きたいくらいこのこのさんが大好きだと言っております。 ・家族以外の人に対しての接し方、関わり方を学ばせてもらい、そこが家庭ではできない部分なので助かります！先生方も親身に向き合ってくれます。本当に感謝しかないです！ ・本人、通うのをとても楽しみにしています！今までは嫌なことをされると攻撃的になっていましたが、最近は小さい子だから我慢したなど、精神的な成長を感じています。自宅が田舎で、周りに遊べる友達がいらない環境なので、お友達とやり取りできる機会が持ててありがたいです。 ・このこのに行くのをいつも楽しみにしています。利用するようになってから本当に成長したと感じることがよくあります。 ・成功体験を積めるような充実した療育 	<p>スタッフ対応・送迎対応・療育内容に高評価を多数いただき、日々のサービス改善の励みとさせていただきます。ご要望をいただいている参観イベント、保護者同士の交流機会、放課後児童クラブとの交流、家族支援プログラム等については、令和8年度の改善計画に反映し順次対応してまいります。</p>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0	<p>・このこのさんに通うようになり、工作にとっても集中して取り組むようになりました。通いはじめて1年ですが、安全地帯が増え、本人の楽しみもあり、親子で助かっています。 ・いつもお世話になっております。カレンダー作成や工作など、いつも素敵な作品を持ち帰ってくるので楽しみです。作品は家に飾ったりして楽しんでいます。 ・いつもありがとうございます。毎日行きたいくらいこのこのさんが大好きだと言っております。 ・家族以外の人に対しての接し方、関わり方を学ばせてもらい、そこが家庭ではできない部分なので助かります！先生方も親身に向き合ってくれます。本当に感謝しかないです！ ・本人、通うのをとても楽しみにしています！今までは嫌なことをされると攻撃的になっていましたが、最近は小さい子だから我慢したなど、精神的な成長を感じています。自宅が田舎で、周りに遊べる友達がいらない環境なので、お友達とやり取りできる機会が持ててありがたいです。 ・このこのに行くのをいつも楽しみにしています。利用するようになってから本当に成長したと感じることがよくあります。 ・成功体験を積めるような充実した療育 </p>	<p>スタッフ対応・送迎対応・療育内容に高評価を多数いただき、日々のサービス改善の励みとさせていただきます。ご要望をいただいている参観イベント、保護者同士の交流機会、放課後児童クラブとの交流、家族支援プログラム等については、令和8年度の改善計画に反映し順次対応してまいります。</p>
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	1	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	6	2		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0	<p>スタッフ対応・送迎対応・療育内容に高評価を多数いただき、日々のサービス改善の励みとさせていただきます。ご要望をいただいている参観イベント、保護者同士の交流機会、放課後児童クラブとの交流、家族支援プログラム等については、令和8年度の改善計画に反映し順次対応してまいります。</p>	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	4	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	9	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	0	活動、その中で人との関わりを通していろいろな学びを得ています！
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	0	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3	0	1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	

事業所名		このこのリーフ千葉ニュータウン		公表日 46170		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室は子どもの活動に必要な広さを確保。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		こどもの状態に応じて職員配置を調整。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		構造化を意識した室内配置と視覚支援。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃を実施。活動別に空間を整える。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応が必要な場合は別空間を活用。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な意見交換でPDCAサイクルを回している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度末に保護者アンケートを実施し改善に反映。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング・LINE等で職員意見を把握。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今後の検討課題。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修・外部研修への参加機会を確保。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で支援プログラムを公表済み。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別アセスメント・専門職評価表を計画に反映。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管が中心となり、支援職員と協議の上で計画作成。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書はチーム内で共有、支援に反映。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	△		行動観察・記録による継続的アセスメントを実施。	標準化されたアセスメントツールの導入余地あり。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの4領域を踏まえて計画作成。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで活動プログラムを立案。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節・行事・テーマを変えてプログラムを更新。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別/集団活動を組み合わせ計画的に提供。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前のミーティングで内容・役割を確認。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		別日や個人間で振り返り共有を実施。	業務時間内での当日振り返りの確保が課題。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報・連絡帳・記録ソフトで支援記録を残す。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期モニタリング・必要時の計画見直しを実施。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせさせて支援。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動・教材の自己選択場面を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所のサービス担当者会議に参加。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と情報共有。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と連絡帳・電話で情報共有・連絡調整。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	△		保育所・幼稚園等とは保護者経由で情報共有。	就学前事業所との情報共有の体系化が課題。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		該当者発生時に情報提供を実施予定。	移行支援対象者発生時の体系的引継ぎが課題。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今後の検討課題。	児童発達支援センターからのスーパーバイズ受講機会を増やす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今後の課題。	放課後児童クラブ・児童館との交流機会の創出が課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今後の課題。	自立支援協議会等への積極的な参加が課題。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・送迎時の対話・面談で日常的に共有。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		子育てや支援に役立つ情報提供は実施。	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の体系的提供が課題。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規程・支援プログラム・利用者負担を説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時にこども・家族の意向を確認。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を示しながら説明し、同意を得て交付。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談・送迎時の対話で相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	今後の課題。	駐車場制約等もあり、父母の会・保護者会の開催が課題。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設置・周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HP・通信・SNSで定期発信。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報取扱規程に基づき適切に管理。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援・平易な表現・代替手段を活用。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		毎年地域の方とのイベントを企画。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定済み。職員研修・訓練を実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定済み。避難訓練を定期実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		連絡帳・引継ぎで服薬・体調情報を確認。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの提出に基づきアレルギー対応。	医師の指示書に基づく対応の徹底（指示書なしでの保護者伝達のためのケースあり）。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定。訓練方法を検討中。	安全計画に基づく訓練の具体化が課題。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の概要を保護者に周知中。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを記録・共有し再発防止策を検討。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を職員に実施。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の運用方針を明文化済み。		